

「中央公園プロムナード周辺のまち歩き」を実施します
～中央公園プロムナードおよびその周辺の将来像を検討するための取り組み～

千葉市では、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成による都市の再生を図るため、「車中心」から「ひと中心」へと転換するウォークアブルなまちづくりを推進しています。

このたび、千葉都心の「まちの顔」である中央公園プロムナードおよびその周辺の将来像を検討するため、千葉大学松浦研究室とともに「中央公園プロムナード周辺のまち歩き」を実施しますので、お知らせします。

また、まち歩きに参加する方を募集しますので、併せてお知らせします。

1 概要

まち歩きを通じて参加者が感じ取った中央公園プロムナードおよびその周辺の現状を踏まえ、このエリアを今後どのような場所にしていくべきかを検討することを目的としています。

当日は、グループに分かれ、第2回中プロ・デザインラボで洗い出された「地域の資源や課題、まちづくりのアイディア」を基に、新たな気づきの発掘や、まちなかの居心地の良さを評価するための指標（安心感・寛容性・安らぎ感・期待感）を用いた調査を実施する予定です。

2 日時

令和7年7月13日（日）8：30～11：30（予定） ※荒天中止

3 集合場所

千葉商工会議所 12階研修室（8：15分から入室可能）

4 内容

- ・まち歩きの目的等の説明（屋内）
- ・中央公園プロムナード周辺のまち歩き（屋外）
中央プロムナードを軸として、3～4コースを想定
- ・まちなかの居心地の良さを測る指標調査（屋外）
まち歩きコース中の1～2ポイントでの実施を想定
- ・まち歩き結果の振り返り（屋内）

5 定員

約40人（事前申し込み・先着順）

6 参加費

無料

7 申し込み方法

7月12日（土）15：00までに市ホームページからお申し込みください。

【URL】https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/keikaku/citywalk01_chupuro.html



<参考>

1 中プロ・デザインラボについて

中プロ・デザインラボとは、市民、事業者、大学、行政などが、多様な視点や価値観の下に、中央公園プロムナードおよびその周辺の課題やテーマについて、意見交換をし、将来像を検討するための「意見交換の場」です。千葉市中心市街地まちづくり協議会・千葉大学・千葉市の3者で設立しました。

<開催実績>

	開催日・場所	内容
第1回	令和7年2月21日 市役所	千葉大学都市デザインスタジオ 2024 からの提案「千葉市の顔としての中央公園プロムナードのリデザイン」を基に意見交換を実施し、提案内容を模型や3D都市モデルに反映させ、道路空間の活用イメージの共有を行いました。
第2回	令和7年6月2日 千葉商工会議所	千葉駅周辺の航空写真を用いた魚眼マップを使って、地域の資源や課題、まちづくりのアイディアをポストイットで貼り出し、意見を可視化・整理するワークショップを実施しました。

2 千葉市中心市街地まちづくり協議会について

中心市街地内の商店街、町内会・自治会、企業、千葉県、千葉市、商工会議所などの会員で組織される、千葉市中心市街地の活性化を図ることを目的とした組織。

3 千葉大学松浦研究室について

千葉大学大学院工学研究院建築学コース松浦健治郎准教授率いる研究室。地方都市における地域資源を活用したまちづくり・都市デザイン・建築設計に関わる実践・研究活動を進めています。